江戸川区立小岩第二中学校 第２学年　学年だより		# かがやき
第１７号	令和８年１０月１６日	

職場体験お疲れ様でした

５日間の職場体験お疲れさまでした。「疲れました。」、「眠いです。」等、仕事の大変さを実感したと思います。先生たちが７３か所の事業所を訪問した際、「良い生徒さんたちですね、」、「真面目な生徒さんですね。」とお褒めの言葉をいただくことが多く、２年生の皆さんの一生懸命さが伝わりました。

職場体験が終わり、次は文化発表会ですが、事業所の方々への感謝を忘れず、想いは形にして伝えましょう。手紙は手間がかかりますが、その分気持ちが伝わりやすいです。

職場体験の振り返りや反省をして終わりではなく、キャリア教育の一環なので、委員会や当番等で与えられた役割を果たしたり、進路選択の参考にしたりして、今後の自分のためになればと願っています。事後学習も一生懸命取り組みましょう。

聴く力

今回の職場体験で感じたことがあります。それは、話を聴くということです。

職場体験に一生懸命取り組みましたが、学年で集まったタイミングや班長会等で先生が話をしたことに対して一回一回反応したり、私語をしたり、少しメリハリの無さが目立ちます。集合時間・場所や事後報告の有無を把握していない等の事案もありました。**話を聴くということは、学力や相手への思いやりに繋がると考えます。**

「耳は大なるべく　口は小なるべし」という言葉があったり、**「耳は２個、口は１個、だから話を聴くことは話すより２倍大切です。」**と言われたり、昔から話を聴くということは大切なことであると考えられてきました。話を聴くときは、相手を見て、終わりまで聴くことを徹底しましょう。

保護者の皆様

５日間、お弁当・昼食づくり等、職場体験へのご理解・ご協力の程ありがとうございました。一生懸命取り組んでいたこと、褒められたこと、頑張っている姿を見られたこと、様々な報告がありました。おかげさまで有意義な機会となりました。

ホームページに職場体験の記事がございますので。よろしければ「いいね」を押していただけると幸いです。

職場体験の振り返り

- 先生の大変さが分かったから、（先生方が）できるだけ楽になるようにしたい。
- 言葉にして感謝を伝えること。目の前の仕事だけでなく、その先にいる人も考える。
- 何かしてもらったら、必ず感謝の言葉を言う。
- 人と目・心で向き合うことが大切だと分かりました。
- どんなことも手を抜かずに一生懸命やる。何事も本気で取り組むようにしたいです。
- 何事も人任せにせず、自分の役割に責任をもって自発的に行動していきたいです。
- 今回の経験を思い出して、しっかりした社会人になりたいです。
- どんな年代でも楽しく話せるようにコミュニケーション能力を高められるようにする。
- お店に行くとき、店員さんの気持ちも考えていきたいです。
- 相手に寄り添って話すことを生かす。
- 時間に余裕をもって生活することを心がけようと思った。
- 自分がどんな職業に就きたいかを考え、何が必要かを考えて行動する。
- この経験を生かして、笑顔で生活できるようにしたい。
- 間違ってしまったことは正直に謝る、目を見て挨拶をする等を生かしていこうと思います。
- 相手の気持ちを最優先に考え、話し相手が嬉しくなるような言葉を考えてから話したいです。
- 優しい心をもって生活する。
- 分からないことは何でもよいので、聞こうと思いました。
- 先生や友達が見ているところだけでなく、裏でも努力する。
- 何事にも最初からマイナスに捉えないで楽しんで挑戦する。
- 職場体験を通して分かったチームワークの大切さを意識して生活する。





コミュニケーション、挨拶、礼儀等が大切と痛感した意見も多かったです。

事業所の方々からは、自ら忙しいポジションを手伝いに行ったり、自分のやることを積極的に聞きに行ったり、とても素晴らしかったです。中学生が純粋に仕事を楽しむ姿は、従業員・利用者にも良い刺激となり、モチベーションアップにつながった等のご感想をいただきました。

ご協力いただいた事業所の方々

お忙しいところ、職場体験を引き受けていただき、ありがとうございました。